# 大量リサイクルから2R優先へ 役割の見直しと新しい主体間連携

容器包装リサイクル法改正に向けての 市民案(第1次案)学習会用資料

> 2012年7月11日 容器包装の3Rを進める全国ネットワーク

## はじめに

2011年8月31日、全国から 394,165 筆が提出された「容器包装リサイクル法の見直しを求める請願」は、衆議院と参議院で採択されました。

#### <請願項目>

- ① 容器包装リサイクル法の役割分担を見直し、分別収集・ 選別保管の費用負担のあり方を検討する。
- ② リデュース、リユースを促進するため、様々な課題への 対応について検討する。
- ③ 製品プラスチックのリサイクルを進める仕組みのあり方 について検討する。

容器包装の3Rを進める全国ネットワークでは、2Rの循環社会をめざした「市民案」を提案しました。大ぜいの市民で次のしくみを考え、提案し、働きかけしていきましょう。

#### <学習会の内容>

学習会の内容は、以下の3部構成です。

第1部 容リ法の基礎を学ぼう

第2部 現在の問題点を知ろう

第3部 新しい容り法の仕組みを考えよう

ポイントは、リサイクル費用のほとんどが税金。そのためリサイクルだけが進み、2Rが進まない。税金によるリサイクルをやめて、商品価格に内部化することで、事業者の責任が明確になり、消費者は費用負担を自覚することで2R優先の意識が向上し、2Rに配慮された商品が増え、2R優先の循環社会が実現。環境保全と資源節約が進みます。

上記の考えを基本にした、新しい容り法の役割分担や具体的な仕組みを考えていきます。

3

# <第1部> 容リ法の基礎を学ぼう

日本容器包装リサイクル協会のホームページ「容リ法って何だろう」より http://www.jcpra.or.jp/summary/index.html



## ②容器包装ってなに?

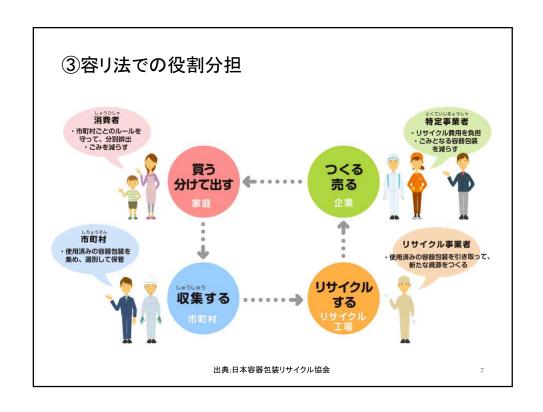
容り法が対象としている「容器」「包装」とは、商品を入れたり包んだりしているもので、中身を出したり使ったり すると不要になるものです。

その種類は、ガラスびん、PETボトル、紙製容器包装、プラスチック製容器包装、アルミ缶、スチール缶、紙パック、段ボールです。ただし、アルミ缶、スチール缶、紙パック、段ボールは、容り法ができる以前から市町村が収集した段階で、有価で販売されりサイクルされているため、企業にリサイクルする義務はありません。

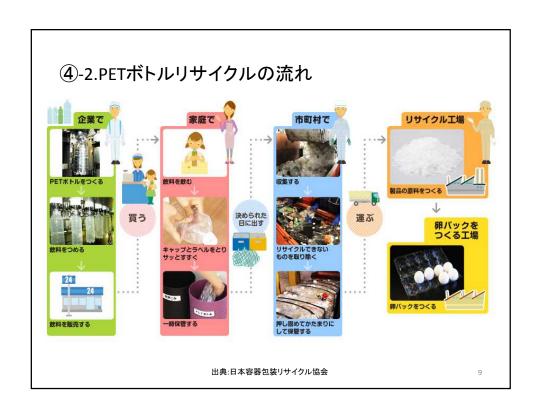
#### 容リ法が対象としている容器包装

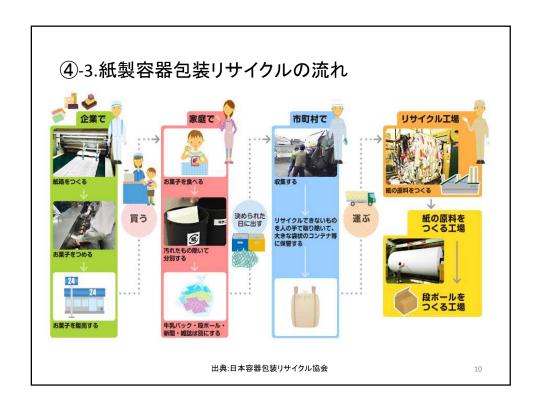


出典:日本容器包装リサイクル協会













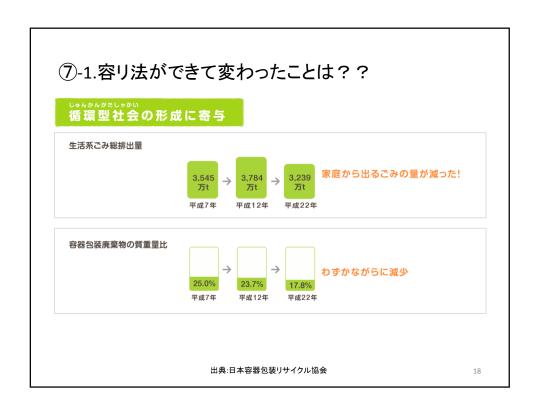






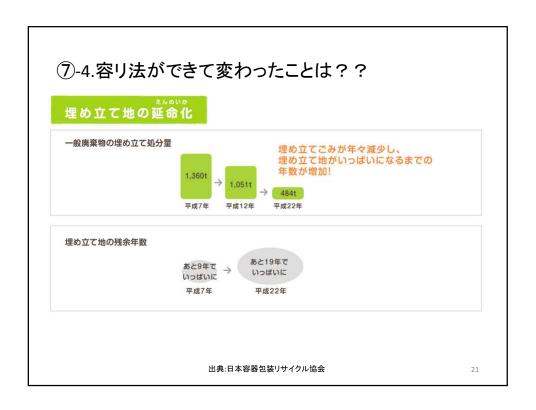




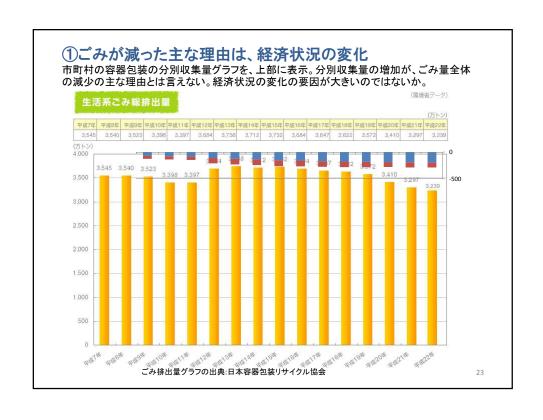






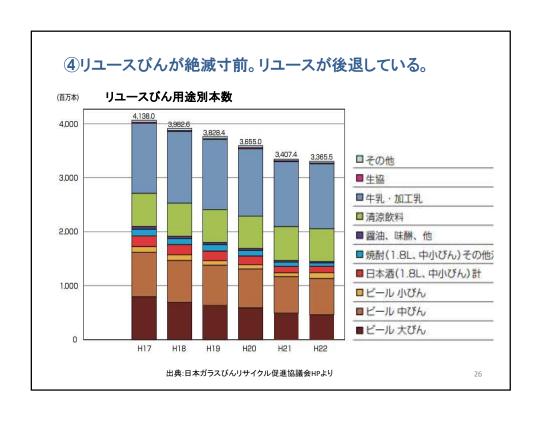


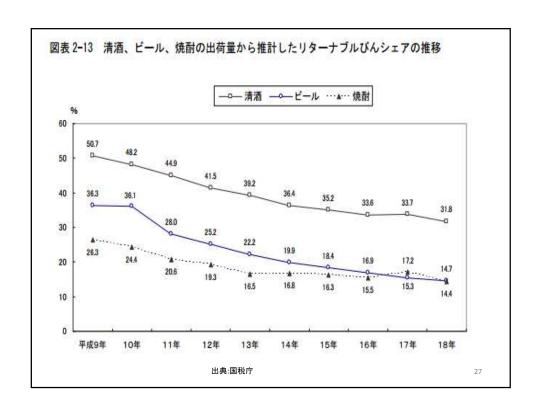
# <第2部> 現在の問題点を知ろう

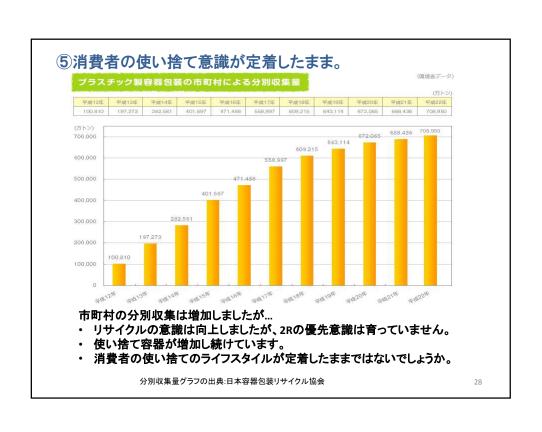




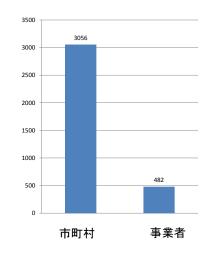
③個別の容器は薄く、軽くなったけど、使い捨て容器は増加		
リデュースの数化	リデュースの数値目標達成状況(平成16年度比平成22年度実績)	
ガラスびん	1本当りの平均重量を <b>1.7%軽量化</b>	
PETボトル	主なサイズ・用途計15種のうち13種で、 <b>0.2~1.9%軽量化</b>	
紙製容器包装	6.7%削減	
プラスチック 製容器包装	9.8%削減	
スチール缶	1缶あたりの平均重量を <b>4.1%軽量化</b>	
アルミ缶	1缶あたりの平均重量を <b>2.5%軽量化</b>	
飲料用紙容器	現状維持	
段ボール	1平方メートル当たりの平均重量で、 <b>1.8%軽量化</b>	
	資料:3R団体連絡会2010年度フォローアップ報告	
	出典:日本容器包装リサイクル協会 25	







# ⑥-1.リサイクル費用の86%が税金負担だから、リサイクルだけが優先されて、このままでは2R優先の循環社会は実現しない。



#### 市町村の分別収集費用:

#### 3,056億円(平成17年度)

- 分別収集に1,714億円
- 選別・保管に1,342億円

(参考)埋立処分費用は、トン当り2万円。平成17年度の再商品化量180万トンでは、360億円。

#### 事業者の再商品化費用:

#### 482億円(平成17年度)

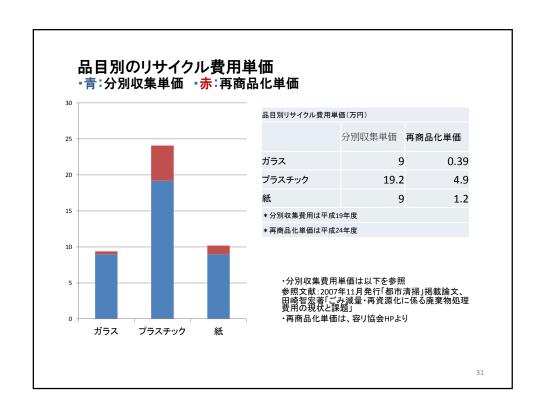
参照文献: 2007年11月発行「都市清掃」掲載論文、田崎智 宏著「ごみ減量・再資源化に係る廃棄物処理費用の現状と 課題」

29

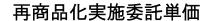
#### 再商品化事業者への委託料総額



出典:日本容器包装リサイクル協会









出典:日本容器包装リサイクル協会

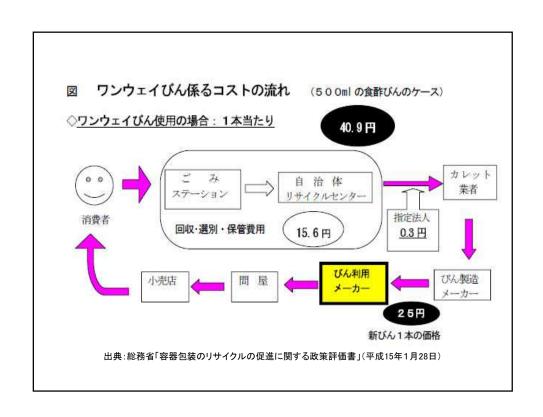
33

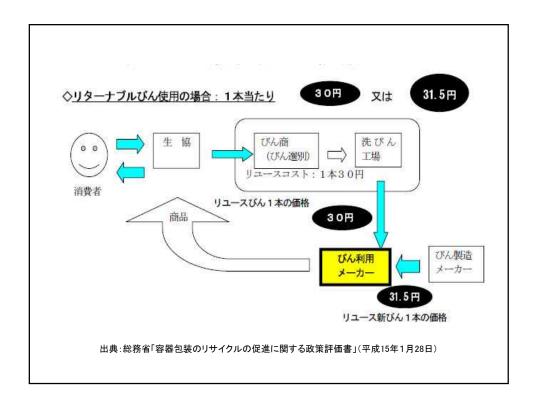
## ⑥-2.リデュース(発生抑制)が進まない経済的な理由

- 1. リサイクル費用の内、2割しか事業者が負担してい ないからです。
- 2. 容器の薄肉化、無包装販売、詰替容器の開発や販売には一定の投資が必要ですが、税金でリサイクル費用を負担しているので、投資効果が生まれにくくなっています。
- 3. 現在の2割負担から10割負担になれば、発生抑制 の製品を開発・販売する投資効果が、論理的には5 倍になります。
- 4. リサイクル費用を商品価格に内部化されると、発生 抑制した製品の価格が相対的に安くなり、環境と経 済の好循環が実現できます。

### ⑥-3.リユース(再使用)が減少した経済的な理由

- 1. リサイクルびんは、市町村が税金で回収しますが、リユースびんは事業者が自分の責任で自主回収します。リユースの回収費用は商品価格に内部化され、価格が高くなります。
- 2. 回収費用が内部化していないリサイクル商品と内部化されているリユース商品では、相対的にリサイクル商品が安くなります。
- 3. リサイクルは分別収集で便利なのに、リユース返却はお店に返却しなくてはいけないので面倒と消費者は考え、お店も返却対応は人件費がかかるのでやりたがらない。
- 4. リサイクルびんにリサイクル費用が内部化されると、相対 的にリユースびん価格が安くなり、競争力が強くなります。 環境と経済の好循環が実現できます。
- 5. 消費者は、財布と環境のことを考えてリユースを選ぶよう になります。





## ⑦.リサイクルでの問題点

- 1. 市町村が分別収集しないと、事業者の再商品化義務 が発生しません。
- 2. 二重選別でダブルコストが発生しています。

特にプラスチックの選別では、市町村が分別収集後、一次選別して再商品化事業者に引き取られますが、再商品化事業者で更に選別が行われています。

- 3. プラスチックリサイクルでは石炭を代替。 多くのプラスチックのケミカルリサイクルでは、石炭の替りにプラスチックが利用 されています。資源枯渇が心配される「石油」を原料で作られたプラスチック を、石炭の代替するのは、今後の資源枯渇の問題解決にならない。
- 4. 容器to容器のリサイクルが少ないので、資源投入量が 減りません。
- 5. 紙製容器包装リサイクルが進んでいません。

## <第3部> 新しい容リ法の仕組みを考えよう

39

## 市民案の基本となる考え方

- すべての容器包装は、3 Rが配慮されて設計され、使用後はリユースまたはリサイクルされることを原則とする。
- 2. 特定事業者は、自ら自主回収するか、市町 村の分別収集費用を負担する。(拡大生産 者責任を徹底して2R商品の拡大)
- 3. 分別収集費用を含めリサイクル費用を製品 価格に内部化することで、消費者がリサイクル費用を負担する。費用負担が納税者から消費者に移る。(受益者負担原則による 2R意識の向上)

- 4. 分別収集後の一次選別と保管を市町村から 事業者の役割にする。
- 5. アルミ缶、スチール缶、段ボール、紙パックも、事業者が分別収集費用を負担する。 (有償販売額と相殺)
- 6. 紙製容器包装は「雑がみ」として収集し、 事業者が分別収集費用を負担する。(有償販 売額と相殺)
- 7. 市町村は、分別収集の効率化に務め、廃棄物会計を公開する。
- 8. 事業者は、集団回収、店頭回収、自主回収 など、市町村の回収費以外の分別収集の拡 大に努める。

41

- 9. 容器to容器や、素材別選別を優先する など、リサイクルの質の向上を図る。
- 10. 市町村は、学校給食でリユースびん牛 乳を普及させ、教育現場での2R優先を 実践する。市民へ2R意識向上の啓発に 努める。
- 11. 小売業者は、リユース商品の優先的取り扱い、容器引取り、2R商品の販売促進、消費者啓発をする。
- 12. レジ袋は有料で販売する。

- 13.国は、2R商品ガイドライン、リユース容器の規格統一ガイドラインなど、3Rシステムを整備し、管理監督をする。
- 14.国はリサイクル率目標を設定し、指導監督する。
- 15.国は分別収集費用の標準費用を設定する。
- 16.国や自治体は、公共施設での2R商品を優先して使用する。

43

#### <リサイクル収集を有料化する提案の問題点>

リサイクル収集を有料化することで、排出を抑制するという(後払いの方法)提案が、一部の事業者団体からありますが、次の理由から適切ではありません。

- リサイクル分別せずに不燃ごみ、または燃えるごみに入れてしまうことが懸念されます。
- 不法投棄、散乱ごみにつながり易くなります。
- 製品を製造する事業者に直接シグナルが届かず、製品設計の3R配慮に結びつきません。
- 分別収集を有料化しても、ごみ有料化と同様、リサイクル費用の全額を徴収できないので、多くの税金負担が残ります。

## あなたの町で調べてみよう

- ① あなたの町のリサイクルを調べましょう。
- ② あなたの町の廃棄物会計を調べましょう。
- ③ 学校給食の牛乳容器について調べましょう。
- ④ 学校での3R教育について調べましょう。
- ⑤ スーパー、コンビニでの<mark>レジ袋</mark>について調べましょう。
- ⑥ 集団回収、店頭回収について調べましょう。
- ⑦ リユースびんの取り扱いについて調べましょう。
- 8 <u>減装ショッピングや買い物ルール</u>について調べましょう。

⇒調べてみて、もう一度「第1次市民案」を検討いただき、ご意見をお寄せください。お寄せいただいたご意見は、2012年12月に発表予定の「第2次案」に反映します。

45

ご静聴ありがとうございました

